

事務事業調書

平成26年度

事業No	926	課	社会福祉課	係	社会福祉係	起案者	水谷幹雄
						決裁者	近藤芳永
事務事業名	地域福祉センター建設事業				事業種別	施設整備	

1 事業概要

総合計画体系	2 健康で安心して暮らせる環境づくり			予算科目(会計)		一般会計		
	2 社会福祉			予算科目(款・項・目)		15-5-80		
	1 高齢者福祉			総合計画以外の計画		第6次高齢者福祉計画		
	4 福祉施設の整備			関連する総合計画の施策				
	1 地域福祉センター			性質区分		法律などで実施が義務付けられているもの		
根拠法令	無							
法定受託事務	無							
公約・議会答弁	無							
陳情・市民要望	有	中学校区単位に整備することとしており、早期整備の要望あり						
実施方法	直営	委託先						
実施期間	開始	平成元年度	経過	25年目	終了		期間	
求める成果 (目的)	誰(受益者)が	地域の高齢者が			~になる	社会参加、生きがいづくりの拠点として利用できる。		
事務事業の内容	地域における社会参加、生きがいづくりの拠点として安祥中学校区に福祉センターを整備します。平成20年度には桜井福祉センター、中部福祉センターを、また平成25年度に安祥福祉センターを開設し、市内7カ所となりました。今後は、明祥中学校区に地区公民館との複合施設として福祉センターを開設し、全中学校区に開設します。							
改善・対策の履歴	平成21年度から社会福祉課で担当しています。							

2 事業費(千円)、人員推移(人)

項 目	平成23年度	平成24年度	平成25年度		平成26年度
	(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(予算)
総事業費	95,737	625,028	42,535	40,579	170,222
財源計	91,831	618,098	35,605	35,476	165,560
財源の内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	市債	28,000	430,000	0	0
	その他()	0	0	0	0
	一般財源	63,831	188,098	35,605	35,476
受益者負担金	0	0	0	0	0
職員人件費 (従事職員数)	3,906 (0.62)	6,930 (1.10)	6,930 (1.10)	5,103 (0.81)	4,662 (0.74)
人事課予算分 人件費	0	0	0	0	0

3 各活動にかかるコスト			年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
活動1	活動名 (活動内容)	建設事業費	見込	1.00	1.00	1.00	1.00
			実績	1.00	1.00	1.00	
	指標名 (単位)	式(式)	活動の総事業費 (千円)	95,737	625,028	40,579	
			活動にかかるコスト (千円)	95,737.00	625,028.00	40,579.00	
活動2	活動名 (活動内容)		見込				
			実績				
	指標名 (単位)		活動の総事業費 (千円)				
			活動にかかるコスト (千円)				
活動3	活動名 (活動内容)		見込				
			実績				
	指標名 (単位)		活動の総事業費 (千円)				
			活動にかかるコスト (千円)				

4 成果指標と実績の推移									
	指標名(単位)				年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
成果1	地域福祉センターの設置数(か所)				目標	6.00	6.00	7.00	8.00
					実績	6.00	6.00	7.00	
	目標達成年度	平成27年度	目標成果指標値	8.00	達成状況	達成	達成	達成	
成果2					目標				
					実績				
	目標達成年度		目標成果指標値		達成状況				

5 成果1、2以外の成果							
成果	(仮称) 明祥地域複合施設建設に向けて、関連工事などが早期に着手するための債務負担行為を組みました。建設時には環境を配慮した施工を行います。						

6 各活動にかかるコストと成果の分析							
内部の取組や外部要因が与えた影響、課題等							
活動コスト	平成25年度は(仮称) 明祥地域複合施設建設に向けて、実施設計・解体工事設計などを行いました。						
成果	複合施設の整備がうまく進むために地域の意見・要望を取り入れるよう調整を図りました。						

7 所属長の改善案							
コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案							
平成28年4月開館に向けて管理運営体制を協議します。							

8 方向性							
必要性、効率性、有効性を踏まえた事業の方向性							
維持・継続		地域における社会参加、生きがいの拠点として、未整備地区である明祥中学校区の整備を進めます。また、介護予防及び環境に対する地域住民の意識向上として施設内に環境案内を掲示しながら整備を進めます。					